

(憲法共同センター) 2019年10月 憲法宣伝スポット (参考例)

こんにちは。私たちは、労働組合や中小業者・農民・青年・弁護士・医療団体などが力をあわせて、憲法を守り生かそうと活動している「戦争する国づくりストップ! 憲法を守り・いかす共同センター」です。

私たちは今「安倍9条改憲NO! 憲法を生かす3000万人署名」に取り組んでいます。

この署名は、様々な思想信条を超えて、「安倍政権のもとでは憲法9条を変えてほしくない」「今すぐの改憲には反対」という全国の方々と取り組んでいます。有権者の過半数にあたる3000万筆集めて国会に届け、改憲発議させないことを目指しています。ぜひ足を止めて署名にご協力ください。

7月の参院選では、自民党・公明党・維新の会という憲法改憲をめざしている政党が、国会での改憲発議に必要な三分の二を割りました。しかし、この選挙結果を無視して、安倍首相は憲法改定を強行しようとしています。

国民が望んでもいない改憲を、どうして進めようとしているのでしょうか。安倍首相の狙いは、憲法9条を壊して、日本を「戦争する国」にすることです。

世界中で紛争や戦争が起こっているにも関わらず、日本は第二次世界大戦が終わってから74年間、一度も戦争をしていません。それは戦後つくられた憲法9条で、「戦力をもたない」「戦争しない」と決めたからです。自衛隊はこの9条1項・2項に守られて、戦地で人を殺すことも、殺されることもなく活動していたのです。

ところが、9条に新たに自衛隊の存在を書き込むとどうなるのでしょうか。これまで効力を発揮していた9条1項・2項は死文化し、自衛隊の活動に縛りがなくなります。しかも、安倍政権はこの間、安全保障法制=戦争法を国会で強行採決し、「海外で戦争できる自衛隊」に変質させてしまいました。戦争経験者は、口々に「戦争の足音が聞こえる」と話します。このまま黙っていることはできません。一緒に平和を守りましょう。

どうぞ「安倍9条改憲NO! 憲法を生かす3000万人署名」にご協力ください。

みなさん。政府には、憲法変えることより先に、やってほしいことがたくさんあるのではないのでしょうか。労働者は長時間労働、低賃金で、心も体もボロボロ。明日への希望を持てません。学生は高い学費をバイトで稼ぎ、学業に集中できません。「子どもの貧困」は深刻なまま、消費税10%への増税によって、貧しい家庭は一層貧しく、必死に生活せざるをえません。

変えなければならないのは、憲法ではなく、憲法を踏みにじる政治です。「政治の私物化やめろ」、「民主主義をまもれ」という思いも、ぜひこの署名に託してください。

核兵器禁止条約は、何十年も積み上げてきた一人ひとりの署名が力になり実現しました。憲法9条も、私たちが力を合わせれば守ることができます。あなたの一筆が平和を守ります。どうぞ、よろしくお願ひします。「安倍9条改憲NO! 憲法を生かす3000万人署名」に、ご協力をお願いいたします。

以上